



2024年5月2日 発行  
社会福祉法人 尚徳福祉会  
保育園与那原ペアーズ2  
看護 師

新年度が始まり、1ヶ月が経ちました。子どもたちも新しい環境に慣れ、少しずつ自分のペースで園生活を楽しめるようになってきているようです。しかし、体や心に疲れが出て、けがをしたり、体調を崩したりしやすい時期でもあります。規則正しい生活をして、元気いっぱいにご過ごせるようにしましょう。

保健に関する情報は「ほけんだより」を通してお知らせしていきます。どうぞ宜しくお願いいたします。

#### 《 4月の感染症情報 》

新型コロナウイルス感染症	…	1名
水痘(みずぼうそう)	…	1名
伝染性紅斑(りんご病)	…	1名

#### 嘱託医のご紹介

今年1年間、健康診断を始めとしたお子さまの健康管理に関し、ご指導とご協力を頂く先生方です。よろしくお願いします。

【内科】 あいわクリニック  
伊佐 真之先生

【歯科】 池田歯科クリニック  
池田 美子先生



#### 年間保健行事

- 身体測定 : 毎月  
(6ヶ月未満児は2週間に1回測定)
- 頭囲・胸囲測定 : 4月・10月
- 尿検査 : 5/29(木)~5/30(金)  
11/11(火)~11/12(水)
- ぎょう虫検査 : 5/29(木)~5/30(金)  
(年1回)
- 内科健診 : 5/27(火)・11/18(水)
- 歯科検診 : 6/19(木)・12/4(木)

※ 日程変更あれば随時お知らせいたします。

#### 《おねがい》



#### ○ 以下の際には必ず職員へお伝えください。

- ・前日と様子が違う。  
(熱・機嫌・下痢・嘔吐・鼻水や目やに・皮フ症状・顔色が悪い・食欲がない等)
  - ・お薬を飲んでいる(坐薬・市販薬も含む)
  - ・家族やよく関わる方が何らかの感染症に感染した。など
- 感染症が疑われる場合は、登園前に受診をお願いすることもあります。

#### ○ 発熱時の対応について。

- ・体温が37.5℃以上になりましたら状態を報告させていただき、38.0℃以上でお迎えをお願いしています。(子どもの状態や様子によって異なります。)

「登園を控えるのが望ましい場合」

- 24時間以内に38℃以上の熱が出た場合や、または解熱剤を使用している場合。
  - 朝から37.5℃を超えた熱があることに加えて、元気がなく機嫌が悪い、食欲がなく朝食・水分が摂れていないなど全身状態が不良な場合。(一方、37.8℃の熱があるが、朝から食欲があり機嫌も良いなど全身状態が良好な場合、一律に登園を控える必要はないと考えられる。体温は目安であり、個々の子供の平熱に応じて、個別に判断が必要)
- 「保育所における感染症対策ガイドライン」より抜粋

#### ○お薬について

- ・基本的に市販薬・処方薬ともにお薬の預かりは行っておりません。  
体調不良などで医師からお薬が処方される際には、1日2回(朝・夕)か1日3回(朝・夕・寝る前)での処方方を医師へご相談ください。
- ・慢性疾患について、園児が薬を服用することで通常の生活を過ごすことができる場合には、医師と保護者の指示に従い与薬することもあります。その場合、「与薬に関する主治医意見書(医師記入)」と「与薬依頼書(保護者記入)」の提出が必要になります。